

# Monthly

VOL.62

2018.9.3

発行人:田中 秋人 編集長:橘川 昭文

編 集:会員サービス向上委員会

一般財団法人アジアフードビジネス協会事務局

〒104-0045東京都中央区築地1-9-5 一九堂ビル5階(株)アジア戦略本部内

•TEL: 03-3524-8080 FAX: 03-3524-8125 E-Mail info@asiafood.jp Web Site http://asiafood.jp Facebook https://ja-jp.facebook.com/asiafoodbiz





#### 目次

P.1

<会員情報> 会員間コラボ事案紹介

農水省補助事業国内研修

<中小企業支援団体情報> 中小企業基盤整備機構について P.3

<中華圏市場特集:台湾>

台湾食市場の近況

P.4

<中華圈市場特集:中国本土>

広州市場の近況 編集後記

P.5

**<トピックス>** 

日本貿易振興機構

タイ王国ミッション案内

#### 政府・自治体・公的機関情報

「ASEAN・インド スタートアップ事情を知るー さらなる変革を求めて一」

■日時:2018年9月14日(金)15:00~17:15(

受付時間14:30) ■場所:ジェトロ本部 5階 展示場(東京都港区

赤坂1-12-32 アーク森ビル)

■主催:ジェトロ

■内容:

1.「ASEANエコシステムの現状」 2.「インドエコシステムの現状」

3.パネルディスカッション 4.ジェトロ事業の紹介

■参加費:

<会場参加>

(1)一般:4,000円(消費税等込み)

(2)ジェトロ・メンバーズ:1口につき先着1名様 まで無料。2人目よ4,000円(消費税等込み)/人 (3)農林水産情報研究会会員:1口につき先着1 名様まで無料。2人目よ4,000円(消費税等込 み)/人

<ライブ/オンデマンド配信>

(1)一般:4,000円(消費税等込み)

(2)ジェトロ・メンバーズ:3,200円(消費税等込 み)/人(3)農林水産情報研究会会員:3,200円( 消費税等込み)/人

■定員:会場参加:150名

ライブ/オンデマンド配信:定員なし

■お申し込み方法:

以下のページにアクセスいただき、必要事項を ご入力の上、送信ください。

https://www.jetro.go.jp/events/ora/71d4a1270 f866ed0.html

ジェトロ海外調査部海外調査計画課(情報提 供発信班) 守部・田岡

TEL:03-3582-5189(受付時間:9:00-17:00 土日祝除く)

E-mail: oraseminar@jetro.go.jp

### ◆会員情報

## <企業間のコラボレーション事業のご紹介> 農水省補助事業国内研修

当会報でも何度かお伝えしてきましたが、当協会会員でありますVIDA Corporationが事業主体となり千房ホール ディングスが協力企業として採択されました、農林水産省平成30年度食品産業海外展開支援事業のうち日本食 提供拠点構築支援事業(日本人日本料理人の海外支援事業)の国内研修が8/20-8/24の期間に東京、大阪で各 2日間に亘り開催されました。









今回の国内研修に先立ち、国内セミナーを6月 から7月にかけて、北は北海道(札幌)から南は 九州(福岡)までの日本全国8箇所10回開催しま した。今回の国内研修は、その参加者の中から 厳正な第一次審査で選考された方々が参加さ れました。

研修は8/20.8/21は東京で、8/23、8/24は大阪で 各2日間に亘り開催いたしました。初日は農水省 の嶋根様から御挨拶を頂いた後、政府機関であ る「中小企業基盤整備機構(中小機構)」「日本 貿易振興機構(JETRO)」「日本政策信用金庫」が 個々の支援策の紹介と、海外で事業をする上で の基礎知識として"労働ビザや税金、保護主義 や外資規制"や"外食企業の今後のトレンド"な どについて千房ホールディングスから説明があ りました。初日の研修を終え、有志で交流会も開 かれました。地域や年齢の違いはありましたが、 同じ意思や思いのあるメンバー同士が集まり交 流を深めました。

2日目は、海外の食関連の市場の事情について 、民間企業の皆様からご講演を頂きました。北 海道総合商事からはロシア市場、西本 Wismettacからは米国市場、Food Styleからはシ ンガポール市場、ザクロスからはフィリピン、イン ドネシア市場について、経験談を交えながら市 場の状況につてお話を頂きました。

2日間に亘る研修を終え、海外研修への最終選 考の参考としての面談も行なわれました。 海外研修に対する前向きな思いや、なみなみな らぬ意気込みを感じることができ、参加者のやる 気と期待を感じることができました。

今回の研修を終え、9月末には海外研修者が選 考され、2018年11月から2019年1月には海外研 修が実施されることになります。

この機会を生かし、日本人の日本食料理人が世 界で活躍できることを祈念しています。

文責:アジアフードビジネス協会 事務局次長 橘川昭文